

一級自動車工学科・自動車整備科			2026年度 授業計画			
時期	2年B巡	単元	学科	教科名	エンジン整備B	
科目	自動車整備関連	教科書等 持参品	2級自動車整備士（総合）		発行日	2026年4月1日
総時限	14時限		科目別標準問題		教科 担当	石田 圭佑
総時間	22.4時間		クロームブック			
単位数	1					
<b>1. 実務経験のある教員による授業科目 該当</b>						
自動車整備士として、エンジン整備の実務経験がある教員によりエンジンの構造、作動について指導する。						
<b>2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>①エンジン電子制御装置のアクチュエータの駆動について理解する</li> <li>②エンジン電子制御装置のECUの各種制御について理解する</li> <li>③ジーゼルエンジンのコモンレールの構造、作動、制御について理解する</li> <li>④エンジンの故障探求の進め方について理解する</li> <li>⑤ハイブリッド自動車及び電気自動車の種類や構造について理解する</li> </ul>						
<b>3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>①エンジン電子制御装置のアクチュエータの駆動について理解できる</li> <li>②エンジン電子制御装置のECUの各種制御について理解できる</li> <li>③ジーゼルエンジンのコモンレールの構造、作動、制御について理解できる</li> <li>④エンジンの故障探求の進め方について理解できる</li> <li>⑤ハイブリッド自動車及び電気自動車の種類や構造について理解できる</li> </ul>						
<b>4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）</b>						
<p>1) 履修試験での学習評価 筆記試験 100点にて評価する。 整備科、国際科 60点以上で合格、工学科 70点以上で合格。</p> <p>2) 出題試験項目</p> <p>①アクチュエータの駆動 ②ECUの制御 ③ジーゼルエンジン ④故障原因探求 ⑤ハイブリッド自動車及び電気自動車</p>						
<b>5. 準備学習</b>						
事前に一年C巡エンジン学科の内容を確認し、アクチュエータ、ECU制御、ジーゼルエンジン、故障探求を復習しておく 次回の授業内容範囲を予習して、テキストを読んでおき、授業内容や質問事項等を学習する。						
<b>6. 学修時間と単位</b>						
<p>本科目は、1単位あたり45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としている。</p> <p>1単位の修得に必要な学修時間の目安は、15～30時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）30～15時間である。</p>						

